

事前確認

1. 新築か補修かによって、また基材の種類によって施工の工程、数量や養生等が異なりますので十分に確認してください。
2. アクアトップ SF水性を塗布した際、風合変色および樹脂等のウキが発生することがあります。これを防ぐための事前確認および塗布量決定のための試し塗りを必ず実施してください。
3. 吸い込みの多い素地では吸い込みが収まるまで塗り重ねる必要があります。その際、コンクリートの風合いを損なうことがありますので、必ず事前に試験塗装を行い、確認してください。



前処理

1. 塗布対象面は、汚れ、油分などを除去し、清浄かつ乾燥した状態にしてください。（含水率：ケット水分計 5%以下）
2. 塗布対象面のクラック、ジャンカ、欠損等のある場合は、色合いおよび吸い込みが同程度のモルタル補修材で処理してください。
3. 塗布対象面の周辺および非塗布面に対しては必ず養生してください。



施工

1. アクアトップ SF水性は希釈せずそのまま使用してください。
2. 塗布方法は、ローラーで施工してください。（スプレーで塗装される場合は、周辺の養生を十分に行ってください。）
3. アクアトップ SF水性は乾燥すると塗布面と未塗布面との区別が付きにくくなります。塗りもれのないようブロック毎等、中断することなく連続で塗布してください。
4. アクアトップ SF水性を塗布面にむらなく十分浸透させるためには、一度に厚塗りせず 2 回に塗り重ね、所定の量を塗布してください。（スプレーで塗装される場合は、霧散しますので 2~4 割程多めの量を塗布してください。）
アクアトップ SF水性は、1 時間以内に 2 回目を塗布してください。
5. アクアトップ SF水性の塗布完了面は 20℃、24 時間以上乾燥養生してください。



検査

1. 完了したアクアトップ SF水性塗布面（20℃、72 時間以上乾燥養生後）に水をかけ、撥水状態と 30 秒から 1 分以内に濡れ色が出ないことを確認してください。
2. 塗布もれ箇所については、乾燥後に所定の量を再度塗布してください。
3. 冬季などの低温時や高温時、塗布後 2 ~ 3 日以内に雨に打たれた場合、撥水性の発現が大幅に遅れることがあります。
4. 改修工事等で、コンクリートの中性化が進行している場合は、撥水性の発現が大幅に遅れることがあります。